福島県 公立高入試 理科 セット4 後半

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問8〜14（全14問の後半）

名前

出席番号　　必要な人は書く

問8　抵抗器aと抵抗器bを並列につないだ回路があります。抵抗器aに直列に接続した電流計が40mAを示しており、2つの抵抗器を通った電流が合流した後の地点に設置した電流計が50mAを示しているとき、抵抗器bを流れる電流の大きさはいくらですか。

- ○ 50mA
- ○ 10mA
- ○ 40mA
- ○ 90mA

問9　コイルに磁石を近づけたり遠ざけたりして誘導電流を発生させる際、誘導電流をより大きくするための方法として適切な組み合わせはどれですか。

- ○ 磁力の弱い磁石を使い、コイルの巻き数を増やす
- ○ 磁力の強い磁石を使い、コイルの巻き数を減らす
- ○ 磁力の強い磁石を使い、コイルの巻き数を増やす
- ○ 磁石を動かす速さを遅くし、コイルの巻き数を増やす

問10　植物の葉に見られる気孔の構造とその成り立ちについて説明したものとして、正しいものはどれですか。

- ○ 葉の内部にある道管が表皮まで伸びてきてできた小さな穴のこと
- ○ 1つの表皮細胞の中に、葉緑体が集まってできた気体の通り道のこと
- ○ 表皮にある2つの孔辺細胞に囲まれてできた小さな隙間のこと
- ○ 師管が枝分かれして、表皮の表面に露出してできた隙間のこと

問11　海岸付近において、昼間に海から陸に向かって吹く風と、夜間に陸から海に向かって吹く風の名称の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。

- ○ 昼間：季節風、夜間：海風
- ○ 昼間：海風、夜間：陸風
- ○ 昼間：陸風、夜間：海風
- ○ 昼間：上昇気流、夜間：下降気流

問12　被子植物のうち、種子から最初に出る子葉が2枚であるグループを双子葉類といいます。この仲間に共通して見られる、葉脈と根のつくりの特徴について正しく説明しているものはどれですか。

- ○ 葉脈は網目状に広がっており、根は茎の付け根から多数出ているひげ根からなる。
- ○ 葉脈は根元から先端まで平行に並んでおり、根は太い主根とそこから枝分かれした側根の区別がある。
- ○ 葉脈は網目状に広がっており、根は太い主根とそこから枝分かれした側根の区別がある。
- ○ 葉脈は根元から先端まで平行に並んでおり、根は茎の付け根から多数出ているひげ根からなる。

問13　離れた地域の地層を比較する際、火山灰が短期間に広い範囲にわたって堆積してできた凝灰岩の層のように、地層がつながっていることを判断する手がかりとなる層を何というか。その名称を答えなさい。

- ○ 不整合面
- ○ 鍵層
- ○ 示相化石
- ○ 示準化石

問14　固体の物質を一度水などの溶媒に溶かし、温度による溶解度の変化や溶媒を蒸発させることを利用して、再び結晶として取り出す操作を何といいますか。

- ○ 再結晶
- ○ ろ過
- ○ 蒸留
- ○ 昇華

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう